

消化器内科、消化器外科 II に通院中の患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 食道癌根治的化学放射線療法後 CR となった症例におけるサルベージの適応判断と予後に関する後ろ向き研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 小松 嘉人 (腫瘍センター・准教授)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]  
東京大学大学院医学研究科・消化管外科学・教授 瀬戸 泰之

[共同研究機関名・研究責任者名] がん研有明病院 渡邊 雅之、北里大学 山下 継史

[研究の目的]

食道癌の化学放射線療法施行後、再発の早期診断に有用であった検査の種類、時期、所見を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

当院で食道癌と診断され、2010 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日の間に主な治療として初回に化学放射線療法を行い、治療後 1 年以内に一度でも完全奏功(Complete response; CR。胃カメラと CT スキャンによる評価において食道癌病巣が消失したと診断できる状態)と診断された患者さんを対象としてカルテ調査を行います。

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)

この研究は、食道癌の患者さんに対して化学放射線療法を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、食道癌再発の診断に有用であった検査の種類・時期・所見を調査するために、東京大学医学部附属病院 胃・食道外科に、CD-ROM で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2019年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 腫瘍センター 担当医師 中積 宏之

電話 011-706-5756 FAX 011-706-5657